

2021.

2.27(土)

13:30開演 12:45開場

Ⓜ HAKUJU HALL ハクジュホール

藤木大地

©hiromasa

MARI ADACHI presents

聖なる子守歌

Geistliches Wiegenlied

ヴィオラ奏者の安達真理が
世界的カウンターテナー歌手の藤木大地と
ピアニストの佐藤卓史を迎えて贈る
ジョイント・リサイタル

安達真理

Biber/Kato/Dowland

Britten/Bridge/Mahler

Hindemith/Brahms

【全席指定】

一般 5,000円 学生 3,000円

【チケット取り扱い】

2月5日(金)発売開始

▶東京コンサーツ



03-3200-9755 (平日11:00 - 16:00)

<http://www.tokyo-concerts.co.jp/concerts/20210227/>
(HPからの予約、セブンイレブンでお支払い・受け取りができます)

佐藤卓史

ビーバー:《ロザリオのソナタ》より「パッサカリア」 加藤昌則:《落葉》

ダウランド:《リュート歌曲集第1巻》より「もしぼくの嘆きが」 ブリテン:ラクリメ〜ダウランドの歌曲の投影 ブリッジ:3つの歌

マーラー:《リュッケルトの詩による5つの歌曲》 ヒンデミット:葬送音楽 ブラームス:間奏曲 ブラームス:2つの歌

※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

[マネジメント] 東京コンサーツ

聖なる子守歌

Geistliches Wiegenlied

生演奏をお届けできないという沈黙の時間を余儀なくされた2020年。音楽家としての存在意義を改めて問い直す日々でした。

その後開催したリサイタルでは、「泣けた」「具合がよくなった」など本当にありがたいご感想をいただき、私が音楽を通してできることを教えていただいたような気がしました。

私自身、自粛後初めて見に行ったオペラ「夏の夜の夢」でオーベロン役を努められた藤木大地さんの浮世離れした美しい歌声を聴いて、今一度、音楽が持ついい意味での魔力を感じました。そして、佐藤卓史さんのピアノには、作品への深い理解と洞察にしっかりと裏づけされながらも、なんの強張りもなく音楽を自然に浮き立たせ、聴く者に伝える力があります。

この公演のテーマは生と死、祈り、そして愛です。このような時だからこそ、そんな壮大な世界観を、素晴らしいお二人と共に皆さまにお届けしたいと思っています。

とてもスペシャルなひととき。是非Hakuju Hallで奏でられる美しい響きに包まれにいらしてください。 (安達 真理)



藤木大地 *Daichi Fujiki, countertenor*

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場に東洋人のカウンターテナーとして史上初めてデビューを飾る。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。2020年10月には、新国立劇場2020/2021シーズン開幕公演ブリテン『夏の夜の夢』に妖精の王オーベロン役で主役を務め、その存在感は際立ち、唯一無二の美声で聴衆を魅了した。続く10-11月に開催されたバッハ・コレギウム・ジャパンヘンデル『リナルド』でもタイトルロールを見事に演じ切り、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開する、日本で最も注目される国際的なアーティストのひとりである。洗足学園音楽大学客員教授。Official Website <https://www.daichifujiki.com/>



安達真理 *Mari Adachi, viola*

現在東京を拠点に、ソリスト、室内楽奏者として活躍するほか、国内オーケストラへも客演首席奏者として多数出演している。東京、ウィーン、ローザンヌにてクラシック音楽の研鑽を積み、2013年からインスブルック交響楽団にて副首席奏者を2年間務めた。近年は、クラシック音楽にとどまらず、現代音楽、そしてポップミュージックまで、ジャンルを問わず積極的に活動の幅を広げている。2018年には自身初となるソロ・アルバム『Winterreise』をリリース。2019年には東京オペラシティ文化財団主催「B→C」に出演し、好評を得る。以降も精力的にヴィオラ・リサイタルを開催し、ユニークなプログラムでヴィオラの魅力を伝えている。Official Website <https://www.mariadachi.com>



佐藤卓史 *Takashi Sato, piano*

高校在学中の2001年、日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。2007年シューベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベト王妃国際コンクール入賞、2011年カントゥ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位など受賞多数。2014年より「佐藤卓史シューベルトツィクルス」を展開、ライフワークとしてシューベルトのピアノ曲全曲演奏に取り組んでいる。N響、東響、日本フィル、神奈川フィル、ベルギー国立管など内外のオーケストラと多数共演。レコーディング活動も活発に行っており、日本と欧州で20タイトルを超えるCDを発表、各紙誌で高く評価されている。作編曲・室内楽・放送出演など幅広い分野で活躍中。Official Website <http://www.takashi-sato.jp>

■ HAKUJU HALL 〒151-0063

東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5

(株)白寿生科学研究所本社ビル 7F

【電車】

代々木公園駅(千代田線)出口1より 徒歩5分

代々木八幡駅(小田急線)南口より 徒歩5分

【京王バス】:「富ヶ谷」停留所 下車徒歩1分 渋谷駅西口バスターミナルより10分

渋63(中野行)渋64(中野行)渋66(阿佐ヶ谷行)渋69(笹塚循環)

